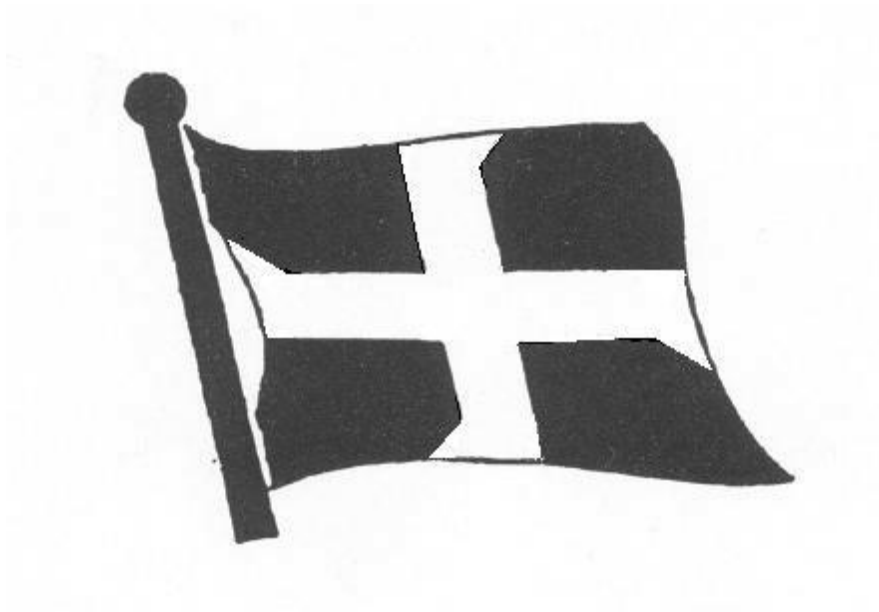


蒼穹 NEWS

No.3

七大戦展望号

令和6(2024)年7月22日発行



—目次—

- ①主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶
- ②各競技展望
- ③日程

① 主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶

《主将挨拶》

来る7月27日、28日に、豊橋市陸上競技場にて七大戦が開催されます。京都大学は史上初の男女総合優勝を目指して、全員で全力で闘います。

京都大学は長年、男女総合優勝という完全なタイトルを目指しながらも、惜しくも成し遂げられずにいました。我々はこれまでの悔しさを糧に、この目標に向かって、絶対に勝てるチームを作り上げてきました。シーズン序盤からチーム全体で他大学を圧倒するような好記録を連発させて、その勢い留まることなくここまで来れたのは、陸上に真剣に取り組んでしてくれた部員一人一人の、そして我々を普段から絶え間なく支えてくださっている方々のおかげだと感じます。

全員が全力で豊橋に乗り込む準備ができています。そして、全員がこのチームに、ちょっとやそっとでは揺るがないただならぬ自信を持っています。男女総合優勝という結果は、ここまでこよりも本気で目指し続けてきた、他のどの大学でもない我々が手にするものだと、心の底からそう思っています。

創部100年という節目に、創部史上最高の結果を刻めるよう、みんながその結果を幸せに共有できるよう、一人一人にとって忘れられない七大戦となるよう、2日間、すべてを駆動力に、全部勝って参ります。

蒼穹会の皆様には日頃より多大なるご支援ご声援を賜り誠にありがとうございます。酷暑の2日間が予想されますが、史上最高の結果を掴み取る姿をご覧いただきたいと存じます。ライブ配信も予定されていますので、併せてご覧下さい。恐縮ではございますが、何卒熱いご声援のほどよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部主将 中川 遥仁

《女子主将挨拶》

女子主将挨拶

今回の目標は、男女総合優勝です。七大学は、七大学の中で最も強いチームを決める試合です。チームの強さとは、単に1人1人の競技力を足し合わせたものではなく、それぞれが仲間に強くさせられ、仲間を強くしようと日々積み重ねた結果として表れるものです。特に七大学の出場校は環境や境遇が近く、大学での競技力、七大学での力の発揮にはチームの強さが大きく影響します。このチームの強さに誇りをもっているからこそ、他の六大学には負けられませんし、負けるはずがないと思っています。

女子は男子以上に事前ランキングの差がほとんどなく、競技数や対校選手数が少ないことから1点の重みが大い状況です。1人1人にかかるプレッシャーが大い中での戦いになることは間違いありませんが、それ以上に七大学こそは男女ともに目標を達成するという強い気持ちで向かっています。

最後になりましたが、日頃より多大なるご支援ご声援を頂いている蒼穹会の皆様には、ぜひ男女総合優勝の瞬間を見届けていただきたいです。ご多忙の中だとは思いますが、現地からも遠方からも熱い応援をよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部女子主将 平岡 雪乃

《監督挨拶》

7/27、28両日において、七大戦が開催されます。今年も目標は男女総合優勝であります。

この一年間、我々は、中川主将平岡女子主将を中心として、大きく躍進を遂げてきました。競技力はもちろんのこと、冬季からの鍛錬や関西インカレでの激闘を通して、活気と一体感の共存する素晴らしいチームとなりました。七大戦へ向かう幹部らの思いは並々ならぬもので、そのすさまじい努力は当日皆様に競技を通して感じていただけたと思います。

男子は事前予測において他大に20点以上の差をつけ、首位となっています。短距離、競歩エースたちと、史上最高レベルとなる800m、また顔ぶれ新しい長距離、跳躍陣と、多くの活躍が見込まれます。他大学からはターゲットとなる立場ではありますが、それらをはねのけるだけの実力はついていると思います。一方で女子は東北大、名古屋大、大阪大との4大学の競り合いとなり、最後の四継まで血肉を争う戦いになることが見込まれます。重圧に打ち克って、最高のパフォーマンスをお見せしたいと思います。

悲願である男女総合優勝に向けて、圧倒的な地力の男子と、史上最強の女子と、豊橋を蒼穹に染め上げてまいります。

蒼穹会の皆様には、日頃からのご支援に感謝申し上げます。また当日は会場から、また配信を通して、ご声援のほどをよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部監督 島村 夏惟

② 各競技展望

第75回 全国七大学対校陸上競技大会
第35回 全国七大学対校女子陸上競技大会
令和6年7月27日(土)・28日(日)
豊橋市陸上競技場

～短距離(短短)～

男子 100m

高田 雄平(4) 10“59
長田 雅史(4) 10“83
山田 慎之助(4) 10“58

男子 100m には、高田(4)、長田(4)、山田(4)が出場する。

高田は、今シーズン 200m では安定した走りを見せているが、100m では納得のいくレースができていない。昨年の悔しさを晴らすべく、この七大戦では100m でも力走を見せてくれるだろう。

長田は、コンディションに左右されず安定して 10 秒台を出せる力がついてきている。自己ベストを更新してまずは決勝進出、そして表彰台を狙ってほしい。

山田は、京カレ後目立った記録を残せていなかったが、先日の京都選手権で自己ベストを更新して 6 位に入るなど調子は上向いている。連覇がかかるプレッシャーをはねのけ、大会新記録での優勝に期待したい。(山田)



得点の期待がかかる長田

男子 200m

高田 雄平(4) 21“18
高橋 昂生(3) 21“17
中川 雄稀(2) 22“41

男子 200m には、高田(4)、高橋(3)、中川(2)が出場する。

高田は、後半に絶対の自信をもっているため、前半でどこまで食らいつけるかがポイントとなる。高橋と競り合いながら好記録を見せてくれるだろう。

高橋は、多種目出場ながら 20 秒台での優勝を目指す。コンディションは万全とは言えないが、地力は誰もが認めるところなので、短短個人種目最初の決勝でチームを勢いづける走りをしてきてほしい。

中川は、先日の京都選手権で自己ベストを大幅に更新するなど勢いに乗っている。ランキングを覆して

の決勝進出、また得点に期待がかかる。(山田)

男子 4×100mR

高田 雄平(4)
長田 雅史(4)
山田 慎之助(4)
田渕 凌(3)
池上 孟志(2)
林 宏太郎(2)

○走順は現在未定

男子 4×100m リレーの目標は 39 秒台での連覇。
高橋がコンディション不良で出走を回避する中で、どこまで他大学を圧倒できるかに注目してほしい。(山田)

女子 100m

中野 直子(4) 12“62
平松 藍(3) 12“80

女子 100m には、中野(4)、平松(3)が出場する。

中野は、怪我で満足に練習できていない状況だが、七大会に向けてしっかりと調子を上げてきており、関西インカレに続く自己ベストの更新にも期待がかかる。3 位以上を目標とし、事前ランキングを覆してくれるだろう。

平松は、ここしばらく伸び悩んでいたが、最近の練習状況を見ると自己ベストを更新できるほどの実力がついてきていることは確かであり、今とても勢いのある選手だ。まずは決勝進出を目標とし、自信を持ってレースに臨んでほしい。(山田)

女子 4×100mR

中野 直子(4)
平岡 雪乃(4)
齋藤 虹香(3)
平松 藍(3)
瀬戸 瑞葉(1)

○平松(3)-中野(4)-平岡(4)-齋藤(3)

女子 4×100m リレーの目標は優勝。実力以上の力を発揮して京大記録を更新し、阪大に競り勝つことに期待したい。(山田)

～短距離(短長)～

男子 400m

岩本 翔太(4) 48“50
益田 椋多(4) 48“90
川村 拓也(2) 49“90

岩本(4)、益田(4)、川村(2)が出場する。

岩本は去年、一昨年と 2 年連続で 4 位であと一歩で表彰台に乗れない悔しい思いをしている。事前ランキングでも 2 位につけており 2 位を狙う。

益田は今 1 番調子がいい。西カレマイル 1 走と京選、2 週連続で 48 秒台中盤で走っており、安定感が光る。益田も 2 位を狙う。

川村は今シーズン 400m デビューして、わずか 3 戦目で 49 秒台をマークした。5 月後半から 6 月にかけて不調もあったが、その間も確実に練習を積み重ねており、現時点では調子も取り戻し、いい状態に仕上がっている。49 秒台中盤も狙える状態であり、決勝進出を期待したい。(岩本)

女子400m

中野 直子(4) 60“33

平岡 雪乃(4) 60“88

中野(4)、平岡(4)がエントリーしているが、他種目との兼ね合いで欠場する可能性がある。短短、ハードル、リレーでの活躍に期待したい。(岩本)

男子4×400mR

岩本 翔太(4)

益田 棕多(4)

青柳 佑(3)

高橋 昂生(3)

川村 拓也(2)

中川 雄稀(2)

○走順は現在未定

エントリーメンバーは岩本(4)、益田(4)、青柳(3)、高橋(3)、川村(2)、中川(2)の6人。ここに短短の高田も出場候補で、当日の調子を見極めて起用する。ランキング 1 位で他大との差を考えると圧倒的優勝候補といえる。大会記録を更新し、男女総合優勝するチームにふさわしい最終種目としたい。(岩本)



七大戦を締めくくるマイルリレー

～ハードル～

男子110mH

五十嵐 聖(4) 15“19

杉本 蓮(3) 16“70

柳町 悠斗(1) 16“17

男子 110mH には五十嵐(4)、杉本(3)、柳町(1)が出場する。

五十嵐は資格記録では得点に届いていないが、十分得点を狙える位置にいる。15 秒 1 付近に上位の多くの選手が固まっているため、ベストな記録を出せば一気にまくれる可能性があるため、そこを目指して走ってきてもらいたい。

杉本は、体は本調子とは言えないながらも、練習では良い動きをしており、好記録が期待できる。自己ベストを目指しつつ、綺麗なハードリングを見せつけてほしい。

柳町は、先週にベストを出しており、資格記録以上の結果が期待できる。例年の決勝ラインは 15.5 あたりとなるため、さらにベストを更新し、決勝を目指して頑張ってきてもらいたい。(五十嵐)

男子 400mH

金盛 圭悟(4) 54“84

青柳 佑(3) 52“30

高橋 昂生(3) 50“78

男子 400mH には金盛(4)、高橋(3)、青柳(3)が出場する。

金盛は、今月初めくらいから調子を取り戻してきており、いい感じに仕上がっている。その勢いのまま、決勝を目指して走ってきてほしい。3 人全員で得点する姿を見せつけてもらいたい。

高橋は、万全な状態とは言えないが、治せるところはしっかり回復させて調整をしている。他の種目も出

場するが、ハードルでは他を寄せ付けない速さで、ぶっちぎりでゴールをしてほしい。

青柳は、先週の県選ではベストタイの記録で走っており、確実に好記録が期待できる。気合いも十分入ってるようなので、持ち前のパワーを遺憾無く発揮して、順位をひっくり返してきてもらいたい。(五十嵐)



対校戦主務として尽力した金盛

女子100mH

新保 歩(4) 15“31

平岡 雪乃(4) 14“42

女子 100mH には平岡(4)、新保(4)が出場する。

平岡は計画的に練習を積めており、調子も上がってきているように見える。名大の選手に大差を付け、対校戦パワーで点をもぎ取ってきてほしい。

新保は、かなりキレも上がってきており、さらなる記録の更新が期待される。多種目出場となるが、混成選手の意地を見せて華麗に走ってきてもらいたい。(五十嵐)



女子主将としてチームを引っ張ってきた平岡

～中距離～

男子 800m

平山 悦章(4) 1'53“86

杉原 一冴(3) 1'51“73

阿部 陽葵(2) 1'54“63

杉原(3)平山(4)阿部(2)が出場する。

杉原は実力的にも上位に食い込めるはず。予選を余裕を持って通過し、決勝での優勝争いに期待したい。

平山は怪我はあったものの自己ベスト付近まで戻してきた。まずはいかに予選を通過するかで、決勝で上位と勝負したい。

阿部は順調に調子を上げて来ていると感じる。まずは平山同様、予選を通るところからで、自分が引っ張ることもイメージしておいてほしい。展開によっては決勝で上位の 6 人を脅かす存在だと思われる。持ち味を発揮してほしい。(西川)



800mに出場する平山 熱い走りを見せてほしい

男子 1500m

西川 洸平(4) 3'57"46

奥村 究(3) 3'57"76

柴折 心汰(2) 4'02"05

西川(4)奥村(3)柴折(2)が出場する。

西川はいい練習ができているので上位の 4 人に食らいつく走りに期待してほしい。

奥村は前年の七大戦では前半突っ込みながら PB を出している。今年に入って大幅に PB を更新しており、去年より確実に力をつけているのでいいイメージを持って走ってほしい。

柴折は先日 3 分台を出し、本人的にもまだまだいけそうな感覚だそうなので、失敗を怖がらず思い切りのいい走りに期待したい。ペース変動の激しい七大戦において柴折のレースでの安定感は大きな武器となる。(西川)

女子 800m

小倉 唯愛(3) 2'18"36

服部 颯希(2) 2'23"18

小倉(3)服部(2)が出場する。

小倉は先日 PB を出して勢いのある選手。北大の浦添さんは 1 回生なのもあり、表彰台を狙える。ここでさらに殻を破りたい。

服部は先日 SB を出して調子も上がって来ている。このレベルの高い中でどれだけランキングを返せるかに期待したい。(西川)

～長距離～

男子 5000m

高山 兼輔(4) 16'09"49

照山 潤(3) 15'29"30

服部 来羅(3) 15'25"35

男子 5000m には高山(4)、照山(3)、服部(3)が出場する。上位が東大や名大の実力者で固められており、得点ラインは 15 分フラット～14 分台になると予想される。ただ、ランキング上位の選手の中にも、直前に 1500m を走る選手や、SB が 15 分半程度の選手がいるなど、隙がないわけではない。

練習状況や持ち記録から得点が期待できる照山や服部には、上位から落ちてくる選手や得点圏のすぐ下にいる阪大の 3 人に勝って、得点することを狙ってきてほしい。

高山はランキングでは他と少し差があるが、先月大幅 PB を出すなど調子は良く、1 つでも上を目指して 15 分台を狙ってきてほしい。(斎藤)

男子 3000mSC

小井 稜真(4) 10'21"61

伊藤 寿真(3) 10'13"63

小野 竜之介(1) 9'08"45

3000mSC には小井(4)、伊藤(3)、小野(1)が出場する。ランキング上位の選手のうち大半が前日もレースを走っており、得点ラインも 9'40~50 辺りまで下がると予想される。

小井は七大戦に向けて3000m障害に挑戦してきた。資格記録を出した記録会ではまだまだ伸びしろしかない走りで、最近はよく走れているので、念願の入賞を狙って攻めの走りに期待したい。

伊藤は暑さや怪我に不安はあるものの、全体的に見れば今季比較的順調に練習をできている。昨年の七大戦でも PB を出しているので、10 分切りや得点も狙える。

小野は関カレでは悔しい思いをしたものの、1500m で 4 分フラットあたりで走るなど、順調に力は戻ってきており、上位のゴールが期待できる。(斎藤)

女子3000m

濱口 姫生(2) 10'20"63

高木 こころ(1) 10'10"15

女子 3000m には濱口(2)高木(1)が出場する。ランキング上位の選手も SB は 10'30 程度で、資格記録ほどの脅威はない。

濱口は今季 1500m で UB を出すなど、確実に伸びてきている。秋の関女に向けて距離も意識して練習していて、3000m にも十分対応できる。昨年の七大では少し悔しい思いをした分、今年は 10 分前後で優勝してきてほしい。

高木は練習を順調に積み、着実に伸びてきている。脚に不安があるのであまり無理せず、初めての七大戦を楽しんで走ってきてほしい。(斎藤)

～競歩～

男子5000mW

土田 浩生(2) 21'38"99

中村 颯葉(2) 21'49"83

中田 晴斗(1) 21'49"25

男子 5000mW には土田(2)中村(2)中田(1)が出場する。21 台後半に京大 3 人、阪大 3 人が固まっており、余程のことがない限りこの 6 人で得点を争うことになるだろう。他大の中で 1 番の有力選手は杉林(2)。関カレでは京大 2 人に先着する 4 位に入っており、資格記録は 5 位だがおそらく 1 番の実力者。レース運びも上手いので 3 人で協力して勝ちにいった貰いたい。逆に資格記録 1 位の赤峰(4)は今シーズン調子が上がっておらず、松井(3)も資格記録以上の実力はまだ付いていないと予想される。ランキングを守るにはここ 2 人に確実に先着することが必須になるだろう。

土田はこの半年でかなり力をつけてきており、勢い

がある。順調に練習を積めているので、20 分台、優勝は射程圏内。昨年の七大、今年の関カレとここ 1 番できっちり仕事をしてくる強さを今回も見せて欲しい。

中村は失格したが 4 月に 20 分台を出しており、練習も順調に積めている。スピードはあるので、5000 では強さを見せてくれるはず。失格には十分気をつけてほしい。

中田は全盛期と比べるとさすがにまだブランクはあるが、練習は順調。現状でも 22 分程度で歩く実力は確実にあり、失格の不安がほぼない歩型をしているので、積極的に上位争いに絡んでいった欲しい。

(斎藤)

～跳躍～

男子走高跳

山中 駿(4) 2m23

田中 颯真(3) 2m01

丹野 啓仁(1) 1m82

男子走高跳には、山中(4)、田中(3)、丹野(1)が出場する。

山中については、優勝は固いのではないかとと思われる。ただ、少し心配なところは、競技場が閉まる前までに試技を終えられるかということだ。

田中については、今シーズン念願の 2m 越えを達成し、波に乗っている選手だ。同じ多種目出場、同じ田中である東大の田中には、死んでも負けられない戦いになる。

丹野は、大学初戦となる。受験のブランクからまだ本調子を戻せておらず、初めての試合が対校戦と少し緊張すると思われるが、1 回生として思い思い楽しんで欲しい。(紀之定)



田中は2mを跳び七大戦でも期待がかかる

男子棒高跳

深井 颯一郎(4) 4m00

吉富 文暁(3) 4m20

男子棒高跳には、深井(4)、吉富(3)が出場する。

深井は、官庁訪問などでしばらく練習ができないなか、調子を合わせられており、PB の 4m は跳べるとのことだ。ただ、試合中脚が攣りやすくなっているのが心配なところである。

吉富は、ランキング上位に位置しており、いかに得点を落とさないかの戦いになる。恐れずに、堅実に記録を出していきたいところだ。(紀之定)

男子走幅跳

大住 圭樹(4) 6m48

松本 良平(4) 6m48

山中 駿(4) 6m76

男子走幅跳には、大住(4)、松本(4)、山中(4)が出場する。

高橋は棄権する。

大住は、今シーズン足首の怪我に悩まされているが、気合と根性で跳んで UB を出しに行けるだろう。

松本は、調子はあまり良くないようだが、幅専門の選手として、山中には勝ちたい。

山中は、正補交代により急遽出場することになり、

練習はあまりできていないそうだが、ここで高橋不出場による得点減を最小に抑えたい。(紀之定)

男子三段跳

中川 遥仁(4) 13m87

田中 颯真(3) 13m44

松井 和輝(3) 14m51

男子三段跳には、中川(4)、田中(4)、松井(3)が出場する。

中川については、事前ランキングでは 8 位である。ここでランキングを返し得点して、「全部勝っ」て帰ってくるしかない。

田中は、資格記録では 13m 中盤であるものの、先日のトライアルでは 14m 越えの大ジャンプを見せた。好記録が期待できる。

松井は、本人曰く 2 位は固いそうで、関西インカレ A 標準の 14m60 を狙っていききたい。(紀之定)



三段跳に出場する中川は主将としてチームを導いた

女子走高跳

篠田 佳奈(4) 1m40

新保 歩(4) 1m50

女子走高跳には、篠田(4)、新保(4)が出場する。

篠田については、PB が 4m99 とのこと、そろそろ 5m を跳んでおきたい。

新保も少し厳しい位置ではあるが、得点に絡んでいきたい。(紀之定)

女子走幅跳

篠田 佳奈(4) 4m99

新保 歩(4) 4m90

女子走幅跳には、同じく篠田(4)、新保(4)が出場する。

篠田は、直前のエントリーを見て出場を決める。

新保は、多種目出場で難しい場面ではあるが、得点に絡んでいきたい。(紀之定)

～投擲～

男子砲丸投

大住 圭樹(4) 9m04

岡本 亜哲(4) なし

浦田 峻太郎(1) なし

男子砲丸投には大住(4)、岡本(4)、浦田(1)が出場する。

大住は得点ラインまでは少し差があるが、一発はまれば得点の可能性は十分にある。本能のまま一発ぶちかまして得点してきてほしい。

岡本は砲丸は初出場だが投げる力は十分にあり、砲丸の出場が決まってからいっぱい投げて練習を積み重ねてきた。その成果を発揮して得点してきてほしい。

い。円盤、ハンマー、砲丸の3種目での得点に期待がかかる。

浦田は初めての投擲種目そして初めての対校戦で貴重な経験となる。持ち前のセンスを生かしてまずは記録を残してほしい。そして何より楽しんで投げてきてほしい。(篠田)

男子円盤投

五十嵐 聖(4) 22m83

岡本 亜哲(4) 31m37

小島 伸介(1) なし

男子円盤投には五十嵐(4)、岡本(4)、小島(1)が出場する。

五十嵐は場数は踏んできているのでその経験を生かして PB を更新してほしい。投擲の最終種目となるので最後盛り上げてくれることを期待している。

岡本は事前ランキング 4 位で 30m 前後がたくさんいて 2 位までは十分狙える。ただ今シーズンの目標の一つとして七大戦優勝を掲げてずっと頑張ってきており優勝に繋がるビッグスローを期待している。

小島は大学初の試合となる。長いブランクがありますが長い手足を生かしてまずは 25m 目指して投げてきてほしい。また対校戦の雰囲気を感じながら楽しんで投げてきてほしい。(篠田)

男子ハンマー投

岡本 亜哲(4) 29m42

中川 遥仁(4) なし

中尾 亮介(1) なし

男子ハンマー投には岡本(4)、中川(4)、中尾(1)が出場する。

岡本は事前ランキングは5位だが表彰台を狙える実力はある。最後の七大戦3種目でランキング返していっぱい点をとってきてくれることを期待している。

中川は専門種目ではないが七大戦で勝つためにコツコツ練習を積み重ねてきてかなり上達した。なかなか投擲種目に出ることもないと思うので楽しんできてほしいし、主将として得点してきてほしい。

中尾は高校の時によく練習していたこともありかなり技術が高い。またフィジカルも強い。出場が決まってから得点するためにたくさんハンマーの練習をしてきたので自信を持って投げてきてほしい。(篠田)

男子やり投

川村 拓也(2) 39m57

木下 賀貴(2) 49m70

柳町 悠斗(1) なし

男子やり投には川村(2)、木下(2)、柳町(1)が出場する。

川村はまだ一度しかやり投の試合に出たことがないためもっと記録を伸ばせるはず。持ち前の肩の強さと高身長を生かしてまずは40mを超えてほしい。

木下は最近いいフォームが掴めつつある。本人は七大戦で点を取りたいという強い思いがあり、事前ランキングは10位だが得点を狙える位置にいる。また対校戦の力を借りて関カレ標準も切ってきてほしい。

柳町はポテンシャルがある。多種目出場にはなるが、今後の対校戦に繋がる投げをしてきてほしい。

(篠田)

女子砲丸投

篠田 佳奈(4) 11m83

新保 歩(4) 9m38

女子砲丸投には篠田(4)、新保(4)が出場する。

篠田は2位との差があまりないがパワーでねじ伏せてくる。

新保は事前ランキングは5位で得点するにはPBは必要。今シーズン投擲種目の調子はあまり良くないが目標の10mを投げて一日目からいい流れを作ってほしい。(篠田)

女子やり投

篠田 佳奈(4) 57m63

新保 歩(4) 33m61

女子やり投には篠田(4)、新保(4)が出場する。

篠田は1位は確実。去年記録した大会新記録を超えるかの勝負となる。

新保は2位取れるかがポイントになってくる。多種目出場にはなるがランキングを守ってほしい。先週の練習で覚醒したらしく40mを楽しみにしている。(篠田)



絶対的王者・篠田

④ 七大戦日程

オープンの部・対校の部(一部実施)【1日目】 7月27日(土)

トラック競技

トラック競技					
開場(7:00)					
開始時刻	種目		ラウンド	組一着 + α	出場選手 (対校)
9:05	男女	5000mW	OP	1	
9:40	男女	5000m		1	
10:05	男			1	
10:50	女			400m	2
11:00	男	5			
12:00	女	1500m		2	
12:15	男			8	
13:10	女	100m		3	
13:35	男			21	
開会式					
15:10	男	200m	予選	3-2+2	高田 (4) ・ 高橋 (3) ・ 中川 (2)
15:25	男	1500m	決勝	1	西川 (4) ・ 奥村 (3) ・ 柴折 (2)
15:40	男	400mH	予選	3-2+2	金盛 (4) ・ 青柳 (3) ・ 高橋 (3)
15:55	男	400m	予選	3-2+2	岩本 (4) ・ 益田 (4) ・ 川村 (2)
16:10	女	400m	決勝	1	平岡 (4) ・ 中野 (4)
16:20	女	4×400mR	OP	1	
16:30	男	4×400mR		7	
16:55	男	4×100mR	決勝	1	京大 (7レーン)
17:05	男	5000mW	決勝	1	土田 (2) ・ 中村 (2) ・ 中田 (1)
17:40	男	5000m	決勝	1	高山 (4) ・ 照山 (3) ・ 服部 (3)
閉場					

跳躍競技

跳躍競技				
開始時刻	種目		ラウンド	出場選手（対校）
9:45	男	走幅跳	OP	
10:00	男女	棒高跳		
12:30	女	走幅跳		
14:40	男	三段跳	決勝	中川（４）・田中（３）・松井（３）

投擲競技

投擲競技				
開始時刻	種目		ラウンド	出場選手（対校）
10:00	男女	やり投	OP	
12:40	男女	円盤投		
13:40	男女	砲丸投		
14:20	男女	ハンマー投		
16:00	男	砲丸投	決勝	岡本（４）・大住（４）・浦田（１）
	女			篠田（４）・新保（４）

対校の部【2日目】7月28日(日)

トラック競技

トラック競技					
開場(7:00)					
開始時刻	種目		ラウンド	組一着 + α	出場選手 (対校)
9:05	女	3000m	決勝	1	濱口 (2) ・ 高木 (1)
9:30	男	3000mSC	決勝	1	小井 (4) ・ 伊藤 (3) ・ 小野 (1)
9:50	男	200m	決勝	1	高田 (4) ・ 高橋 (3) ・ 中川 (2)
10:10	男	110mH	予選	3-2+2	五十嵐 (4) ・ 杉本 (3) ・ 柳町 (1)
10:40	男	400m	決勝	1	岩本 (4) ・ 益田 (4) ・ 川村 (2)
10:50	女	100m	予選	2-3+2	中野 (4) ・ 平松 (3)
11:00	男	100m	予選	3-2+2	高田 (4) ・ 長田 (4) ・ 山田 (4)
11:20	女	100mH	決勝	2	平岡 (4) ・ 新保 (4)
11:50	男	110mH	決勝	1	五十嵐 (4) ・ 杉本 (3) ・ 柳町 (1)
12:10	男	800m	予選	3-2+2	平山 (4) ・ 杉原 (3) ・ 阿部 (2)
12:30	男	100m	決勝	1	高田 (4) ・ 長田 (4) ・ 山田 (4)
12:40	女	100m	決勝	1	中野 (4) ・ 平松 (3)
14:05	男	400mH	決勝	1	金盛 (4) ・ 青柳 (3) ・ 高橋 (3)
14:20	女	800m	決勝	1	小倉 (3) ・ 服部 (2)
14:30	男	800m	決勝	1	平山 (4) ・ 杉原 (3) ・ 阿部 (2)
15:10	女	4×100mR	決勝	1	京大 (3 レーン)
15:30	男	4×400mR	決勝	1	京大 (7 レーン)
閉会式(16:00)					
閉場					

跳躍競技

跳躍競技				
開始時刻	種目		ラウンド	出場選手 (対校)
9:00	女	走幅跳	決勝	篠田 (4) ・ 新保 (4)
9:30	男	棒高跳		深井 (4) ・ 吉富 (3)
10:15	女	走高跳		篠田 (4) ・ 新保 (4)
11:45	男	走幅跳		大住 (4) ・ 松本 (4) ・ 山中 (4)
13:15	男	走高跳		山中 (4) ・ 田中 (3) ・ 丹野 (1)

投擲競技

投擲競技				
開始時刻	種目		ラウンド	出場選手（対校）
9:00	男	ハンマー投	決勝	岡本（４）・中川（４）・中尾（１）
11:10	男	やり投		川村（２）・木下（２）・柳町（１）
	女			篠田（４）・新保（４）
14:10	男	円盤投		五十嵐（４）・岡本（４）・小島（１）



蒼穹ニュース 令和6年度 第3号
令和6年 7月22日発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部
編集者：佐向丘（蒼穹ニュース担当副務）
写真担当：濱口姫生・大西智貴・川村拓也

陸上競技部 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/>
陸上競技部記録 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku.htm>
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>
メールアドレス sakoh.kyu.56n@st.kyoto-u.ac.jp（佐向）